

令和4年度活動重点取組結果一覧表

資料9

団体名	活動重点	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	ニセ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
長崎県退職者連合						○ニセ電話詐欺防止の注意喚起の記事を機関紙に掲載。		
長崎県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会			○各幼稚園・認定こども園を通じて、地区の警察署等からのメール・FAXによる事案・犯罪予防等の通知を利用した情報収集と各家庭への提供を行った。	○加盟園各園において、「あいさつ」の大切さを園児やその家族に伝えていく活動への協力を行った。				
長崎市PTA連合会	○長崎っ子の約束「あ・は・は運動」について再確認し、「メディアルールの徹底」を呼びかけた。 ○「フィルタリング体験会」を実施し、フィルタリング設定の必要性について理解を深めた。 (各PTA) ○メディア関連のPTA役員研修会を開催した。 ○メディア関連のPTA役員研修会を実施し、スマホ等の負の部分学んだ。	○県警のキャッチくんからの事案・犯罪予防の通知によりPTA会員に周知。 ○関係機関の会議に出席し、情報を収集している。 (各PTA) ○PTAの役員が地域(自治会・育成協)の諸会議に出席し、情報の収集及び提供に努めている。 ○県警のキャッチくんから情報を収集している。	(各PTA) ○朝のあいさつ運動、声かけ運動を実施している。 ○学校・自治会・老人会等と連携し、「見守りパトロール活動」を実施している。	(各PTA) ○朝のあいさつ運動、声かけ運動を実施している。 ○単位PTAにおいて、学校・自治会・老人会・地域コミュニティ等と連携し、「見守りパトロール活動」を実施している。 ○メディア関連の研修会を実施した。	○ニセ電話詐欺被害防止活動への協力。			
ダイヤモンドまちづくり連絡協議会	○新しい団地の地域状況から「安全で安心して暮らせる街づくり」のための住民の基本的な意識と行動を「あいさつの励行」と「夜間の門灯点灯」の運動を継続してきた。協議会内の交流部会や自治会、各団体や機関等での運動の経過状況等については代表者会で情報交換を行っているが、より具体的な方策を検討する時期にあるように考えている。	○警察や関係機関等から届く防犯状況等は「まちづくり通信」(毎月発行し全世帯に配布)や自治会の掲示板などで広報するようにしている。また、域内の情報は協議会の代表者会議で協議する。	○「お出かけの際はお隣にひと声を!」は、「まちづくり活動」の大切な要件の一つにしている。防犯のみならず、日常生活の中で「信頼と交流」のカギであり、「向こう三軒両隣」はまちづくり活動の大切なカギである。	○子供達の安全確保のため、朝の登校時は通学路八カ所を15人で見守り活動、また「青パト活動」では域内の12カ所の公園、住宅街、大型店舗を巡回し、域内での防犯活動を実行。	○コロナ禍のため、被害防止の活動は出来なかったが、「協議会の全体会」で、毎回「大浦警察署小ヶ倉交番」から2名出席して頂き、域内の犯罪発生件数や、防犯についての注意すべき事などについて、指導・助言を頂いている。		○暴力追放「命を守る市民集会」に参加。「青パト隊」が市内をパトロール。	
(公財)長崎県老人クラブ連合会					○単位老人クラブにおいて学校・自治会等と連携し「地域(子供)見守りパトロール活動」を実施。			
(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会	○子供達への声かけ・見守りを続けている。県下全域にひまわりの花を咲かせ(おせっかいおばちゃんおじちゃんがいる)をわかってもらう。	○婦人会だよりにて発信。県外の情報も共有。	○県内の会員が心を一つにして、声かけ・見守りを続けている。 ○子供の目を見て話しかける。	○メールや電話に注意するよう家庭内でも話の場を持つよう働きかけた。	○「私は大丈夫」と言う人に限って騙されやすいので誰かに相談するようにと周知した。			○長崎ひまわりプロジェクトと同時に子供の見守り・声かけを継続した。併せてフードバンクにも取り組んだ。
長崎県警友会連合会	○各種イベント会場等においてチラシの配付や広報啓発活動を実施した。 ○大型商業施設で万引き事案の発生防止のため防犯パトロールを実施した。	○警察本部及び警察署との協議会や意見交換会を通じて犯罪情勢等の情報を収集し、各種イベントや会合においてチラシの配付等により安全情報を提供した。		○児童の登下校時の見守り活動により児童の犯罪被害防止に努めた。	○年金支給日における金融機関、ATMの警戒及び利用者へのチラシ配付により被害防止に努めた。 ○各種イベント会場等においてチラシ配付による被害防止に努めた。			○警察署長等から委嘱を受けた330人が県下において2,439回、6,122人が児童の見守り活動、各種イベント会場での犯罪防止、交通事故防止の広報、防犯パトロールによる地域の安全・安心活動に従事した。
日本放送協会長崎放送局		○報道機関の責務として安全につながる正しい情報を取材、いち早く、TV・ラジオ・ネットなどを通じて広く伝えた。						
(株)長崎新聞社		○県内の長崎新聞販売店が長崎県警と連携して取り組む「長崎新聞あんしんネットワーク」を通し、安全情報・危険情報などの収集に取り組んだ。		○地域の見守り活動などを紹介した。各種活動はコロナ禍前に戻りつつあり、2023年度は関係者の活動や努力をもっと積極的に取材していきたい。	○「ストップ ニセ電話詐欺」のワッペンで紙面キャンペーンを展開中。昨年1月からの記事本数は110本を超えた。引き続き撲滅に向けて啓発を図る。		○暴力追放に関する記事を積極的に紙面で紹介し、気運醸成に努めた。	

団体名	活動重点	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	二セ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
(公社)長崎県防犯協会連合会		○住民の規範意識向上を目的に落書き消去ボランティア事業を推進した。令和4年度は、島原市商店街の万町及び堀町の2か所において防犯ボランティア、地域住民、商店街約40名の参加協力により、落書き消去活動を実施して、地域の規範意識を高めた。長崎新聞・島原新聞に記事掲載、カボチャテレビ・ひまわりテレビで放映	○「防犯ながさき」を随時関係機関へ配布及びホームページに掲載するなど、情報発信に努めた。 ○安全情報について、県警と随時情報交換を行い、パンフレット等で情報を提供した。		○「防犯ながさき」に子供・女性に対する犯罪防止について、記事を掲載し広報を実施した。 ○子供をネット犯罪から守るための、冊子を作成し県下各地区に配布した。	○民放テレビ2局で、二セ電話詐欺被害防止広報大使の歌手「前川清」出演による二セ電話詐欺防止のテレビスポットCMを計30回放映して広報した。 ○長崎新聞およびNBCラジオで、二セ電話詐欺防止の記事や放送を実施した。 ○各地区防犯協会及び県警と合同で被害防止を呼び掛けるキャンペーンを実施した。 ○風俗営業等管理者講習において、二セ電話詐欺防止事例のDVDで受講者に対する視聴を実施した。	○風俗営業等管理者講習会において、暴力追放に関する啓発、広報を実施した。 ○防犯コンクールにおいて「暴力団への加入阻止」を課題として募集し、入選作品を表彰するとともに、機会あるごとに広報するなど、暴力追放機運の醸成を図った。	
大村市竹松地区防犯協会		○竹松地区20町内会長一丸となり「かぎかけんば」「ひと声かけんば」「見守りせんば」セーフティモデルタウン計画を継続実施。 ○竹松駅前ふれ愛ステーションを拠点として20町内会及び富の原小・竹松小・健全協と合同による夜間(20時~21時)駅周辺の防犯パトロールを実施、地域の非行防止に努めた。(延べ183人、75回実施)	○大村警察署及び地元交番と連携し、毎月交番発行の防犯チラシ、生活安全ニュース等を竹松全地域町内会に対し、班回覧用として配布。 ○学校支援会議に参加、情報の収集、意見交換の実施。	○町内会役員会及び班長会議、老人定例会において、近隣住民及び児童等に対し「挨拶運動」の実施。 ○犯罪が起きないように横断幕を作製、公園等に掲示し、地域住民に対し啓蒙。「見逃すな小さな犯罪地域の目」「声かけて地域で守る子供たち」「広げよう安全・安心地域の輪」ターボリン製(1,500mm×450mm)40枚製作、各公園に掲示し啓蒙。	○竹松地区20町内会長の青色パトロール車によるパトロールの実施(91回、夜間10回) ○各公園広場の樹木の剪定、除草等環境美化活動の実施。 ○富の原小・竹松小の2校の児童に向けて横断幕を8枚製作し、児童たちが目にし対応できるよう掲示。「イカのおずし」ターボリン製(600mm×2,000mm)	○新型コロナウイルス感染拡大防止のためチラシ配布は中止。 ○大村警察署発行、生活安全ニュースを竹松地区各班に回覧活用。		○竹松地区防犯協会8基(LED)独自新設・防犯等器具2基修理。 ○「盗られるな大事な自転車カギかけて」の横断幕を4枚を竹松駅駐輪場に掲示し、自転車利用者に対し啓蒙実施。 ○交通頻繁な場所、交差点付近、事故多発地帯に立て看板10枚を製作、交通事故の皆無を図る。
長崎県少年補導員連絡協議会		○各地区ごとに随時街頭補導を実施。 ○店舗に対する万引き防止の協力依頼等の実施。 ○学校、駅周辺等における自転車の防犯診断を実施。	○各種非行防止懇談会、会合へ参加し、少年の非行防止・犯罪被害等について広報啓発を実施。 ○各地区の行事等に合わせた少年の非行防止・犯罪被害防止キャンペーン活動を実施。	○児童生徒の登下校時における見守り活動と校区内パトロールを実施。	○少年の非行防止・犯罪被害防止キャンペーン活動を実施。 ○児童生徒の登下校時における見守り活動と校区内パトロールを実施。 ○登下校ルート及び駐輪場等における防犯診断の実施。	○県内の二セ電話詐欺被害状況について研修し、各種会合において広報啓発を実施。		
(一社)長崎県建設業協会			随時、HPに「見守り新鮮情報(国民生活センター)」、「もってこいネットワーク通信(長崎県警本部)」、「長崎県消費者被害防止ネットワーク情報(長崎県消費者センター)」の新着情報を掲載。					
(一社)長崎県建築士会								○仕事場への行き帰りでの挨拶が一時期増えてきたがマスク着用の弊害で感情がわかりづらいなどの弊害を感じた。近年、子供たちに気軽に声を掛けることすら「通報案件」となる事例も増えており、このような社会風潮が子供たちを犯罪に巻き込む環境になりにかかないことに危機感を感じた。次年度に向けた社会全体の課題であるといえる。
(一社)長崎県警備業協会			○警備業務を通じて、ATMコーナーの警戒及び利用者に対して積極的に声掛けを実施し、二セ電話詐欺の被害防止に努めた。	○「安全・安心まちづくりパートナーシップ事業所」として、事業所に職を掲げるとともに、環境美化活動を通じて、地域への安全・安心の提供と、安全情報の収集を推進した。	○警備業者において、地域安全パトロール隊として青パトの登録を行い、長崎市立古賀小学校校区内において、下校する児童の見守り活動を実施した。 ○警備において、犯罪から身を守るための「女性のための護身術講座」を開催して講師を務め、犯罪から身を守る活動を推進した。	○警備業務を通じて、ATMコーナー警戒及び利用者に対し、積極的に声掛けを実施し、二セ電話詐欺の被害防止に努めた。 ○協会発行の機関誌に二セ電話詐欺被害防止の広報文を掲載したほか、「警備の日」街頭キャンペーンにおいて、長崎県警察本部作成の二セ電話詐欺被害防止のチラシ300部を通行人に配布し、広報啓発活動を実施した。	○暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会に参加した。 ○暴追センターの理事会に協会会長が出席した。	

団体名	活動重点	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	二セ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
長崎県商工会連合会			【西そのぎ商工会】 商工会館本所の内外に設置している防犯カメラは常時録画を行なっている。特に屋外に設置しているカメラは、道路の通行状況も録画していることから、警察署等からの要請に応じて情報提供を行なっている。 【新上五島町商工会】 新上五島警察署広報誌「生活安全ニュース」を商工会全会員へ情報発信し、防犯意識の高揚を図った。		【西そのぎ商工会】 長崎県商工会女性部連合会事業である「ひまわりプロジェクト」の一環として、長与町、時津町内の幼稚園児や保育園児に対して、啓発活動を行なった。(お菓子の配布)	【西そのぎ商工会】 時津警察署からの要請により、二セ電話詐欺の注意喚起のためのシールを、商工会会報に同封し会員事業所に配布した。		
(一社) 長崎青年会議所	○子供の手本となるような行動を意識する。	○学校・地域・家庭・職場などへの情報共有・発信。	○あいさつへの重要性。	○犯罪に巻き込まれないための意識・知識の周知。				
させば四ヶ町商店街協同組合	○街内放送で繰り返し広くアピールすることで、スケートボード・自転車の通行が減少した。							
(株)ファミリーマート九州リージョン				セーフティステーション活動を通して、子供・女性の駆け込み対応の実施。 駆け込みがあった際は各店にて対応。取組結果は日本フランチャイズチェーン協会に報告	お客様への声掛けによる未然防止を推進。 各店舗にて声掛け実施。防止関連掲示物の設置。			
長崎県校長会	○教職員自らが子供たちの手本となるような言動を心掛けた。問題が起こったら時機を逃さず指導を続けた。	○地域の会議、行事にはできる限り参加し、情報交換を行った。	○登下校時の挨拶や声掛け等、地域の方にも関わっていただいた。	○自分の身を守ることも併せて指導した。(「いかにおすし」等)	○警察からのポスター・パンフレット等を校内に掲示した。	○警察からのポスター・パンフレット等を校内に掲示した。		
長崎県高等学校長協会	○通学バスの乗車指導は感染対策により実施できず、通学時に校門指導(挨拶の励行、身なり指導)を行った。	○学年集会やホームルームにおいて、情報提供し、注意喚起を行った。	○挨拶の励行を心掛けた。	○特に長期休業前に文書を作成し、注意喚起を行った。	○ポスターやパンフレットの掲示及び配付を行った。	○ポスターやパンフレットの掲示及び配付を行った。		
長崎県私立中学高等学校協会	○ココロねっこパレードへの参加。	○もってこいネットワーク通信の回覧。						
長崎県私立幼稚園・認定こども園連合会		○各地区の警察署等からのメール・FAXによる事案・犯罪予防等の通知を利用した情報収集と各家庭への提供を行った。	○加盟園各園において「あいさつ」の大切さを園児やその家族に伝えていく活動を行った。 ○園の近隣住民に方に対して教職員や園児の積極的なあいさつを心がけた。	○「子どもを守る長崎ひまわりプロジェクト」への参加。	○各地区の警察署等からの資料の提供を行った。			
長崎県PTA連合会							○子供に思いやりの心を育てるために「第16回いじめ防止標語コンテスト」を実施した。また家庭教育力の向上と親子の絆を深めるために「三行詩コンクール」を実施し、優秀作品を県P連において表彰するとともに日本PTA全国協議会へ推進した。	
長崎県私立中学高等学校PTA連合会	○ココロねっこパレードへの参加及び各私立学校PTAへの参加呼びかけ。	○もってこいネットワーク通信の回覧。						
県民会議杵岐支部	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内の行事等は依然として自粛モードではあるが、啓発活動は継続して行うことで市民の方にも安全安心なまちづくり意識の推進ができた。	○警察、駐在所、協議会等への参加は、依然として自粛することが多くなった。	○会議等は感染症対策を徹底して行うことで、公民館、PTA等とは、電話やSNS等で情報共有し協力して推進した。	○公民館長等「こども110の家」の推進活動を実施した。	○二セ電話詐欺詐欺防止において、「被害防止対策機器」の利用促進に努めた。	○暴追協、防犯協、保護司会等と協力して、暴力追放の啓発を行った。 ○警察(駐在所)との連携をとり、暴力追放運動に推進できた。	○杵岐市内の各小学校では、毎年6月頃に「社会研究」課外授業として、各事業所側に協力依頼があり、事業所における仕事内容の説明や体験学習を児童に対して行なった。	
県民会議五島支部	○防犯巡視活動時、駐車車両の防犯診断を実施。 ○防犯パレードへの参加。							